

2023年1月18日

株式会社アドバンテック

株式会社 GOODTIME

日本初のゼロエネルギーホテル「ITOMACHI HOTEL 0(ゼロ)」が 2023年春、愛媛県西条市に誕生。設計は隈研吾氏。



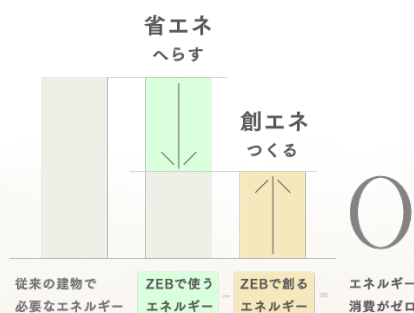
グローバルでの半導体関連機器製造を中心に、近年は再生エネルギーや地方創生・まちづくり事業も展開する株式会社アドバンテック（本社：愛媛県西条市、代表取締役：山名正英・首藤信生）と、「白井屋ホテル」「SORANO HOTEL」など国内外で話題のホテルの企画を多数手掛けてきた株式会社 GOODTIME（本社：東京都渋谷区、代表取締役：明山淳也）は、2023年春、日本初のゼロエネルギーホテル「ITOMACHI HOTEL 0(ゼロ)」を、隈研吾氏設計により愛媛県西条市に開業することをお知らせします。

日本初のゼロエネルギーホテルが加速させる脱炭素社会への取り組み

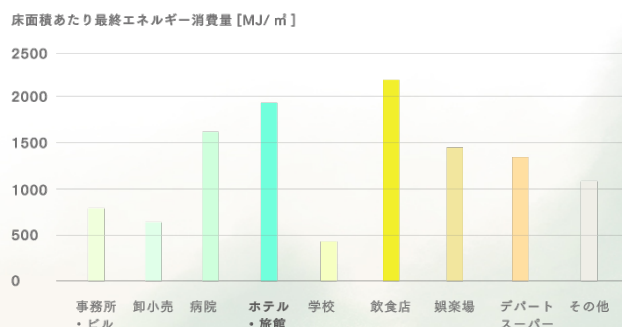
ITOMACHI HOTEL 0(ゼロ)は、ホテル運営において、実質的に電力エネルギーを消費しない「ゼロエネルギーホテル」です。日本国内のホテルで初めて、環境省が定める最高ランクの「ZEB」の認証(※1)を取得しました。建物に省エネルギーと創エネルギーの機能を同時に備えることで、実質的な電力消費0を可能としています。

建物用途別のエネルギー消費量において、ホテルは床面積あたりの電力使用量が飲食店に次いで2番目に高くなっており、ホテルの電力使用量を実質0にすることは、脱炭素社会を加速させる大きな可能性を秘めています。ゼロエネルギーホテルが増えることで、自然環境に負荷をかけることなく人の楽しみを創り出す、これからの時代の持続可能な観光及び宿泊体験を多くの人に届けることができるようになります。

※1 ZEBとは (<https://www.env.go.jp/earth/zeb/about/index.html>)



出典：「環境省 ZEB PORTAL」 <https://www.env.go.jp/earth/zeb/about/index.html>



出典：「環境省 ZEB PORTAL」 <https://www.env.go.jp/earth/zeb/detail/04.htm>

再生可能エネルギーでエネルギーの自給自足を行う「いとまち」に泊まれるホテル

ITOMACHI HOTEL 0(ゼロ)は、西条の新たな賑わい創出を目指し2020年に開業した「いとまち」(※2)の敷地内に建設されます。既に開業している施設においても「ZEB Ready」の認証を取得しており、現在までにオープンしたマルシェ、レストランは、そこで生み出された電力を活用し運営しています。また、マイクログリッドが確立された街区計画となっており、災害発生時は3日間800名分の非常用電源・水・食を提供できる防災拠点としての機能も併せもっています。西条に新たな活気を生み出すと共に、エネルギーの地産地消、「RE100」(※3)に向けた取り組みなども行う「いとまち」は、持続可能な社会を実現するテクノロジーとヒト・モノ・コトの交流が生み出す、新たな地方創生の形といえます。

※2 いとまちとは (<http://ito-pj.town/>) ※3 RE100 とは (<https://www.re100-denryoku.jp/about>)

▼いとまち 全体マップ ※今後の開発予定施設を含みます。



「エネルギー・テクノロジー・グリーンインフラ・食・建築」をテーマに進化を続ける「いとまち」は、来春のホテル開業以降も、温泉施設、和食レストラン、住宅街区など、続々と新たな施設がオープン予定です。そんな「いとまち」に開業するITOMACHI HOTEL 0(ゼロ)は「いとまち」全体を楽しんでもらえる「まち泊」を提供するホテルとして、「いとまち」を訪れる西条内外のヒト・モノ・コトの交流と賑わいを牽引し、西条の関係人口拡大に寄与することを目指します。

開業の地は「水の都」愛媛県西条市

ITOMACHI HOTEL 0(ゼロ)開業の地である愛媛県西条市は、北に瀬戸内海、南に西日本最高峰の石鎚山を有し、名水百選にも選ばれた「うちぬき」と呼ばれる自噴水が街中に湧き出る水の都です。豊かな自然と同時に四国屈指の農業・工業都市という側面も持つ西条は「2021年版 住みたい田舎ベストランキング」では全部門で全国1位を獲得、史上初の4冠を達成するなど(※4)美しい水・海・山・まちが揃った暮らしやすい田舎として、注目を集めています。

※4 愛媛県西条市は宝島社(千代田区)が発行する『田舎暮らしの本』の中で「2021年版 住みたい田舎ベストランキング」全部門で全国1位を獲得！史上初の4冠達成でコロナ禍でも移住者急増中！

(<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000001.000072141.html>)

「新国立競技場」も手掛けた日本を代表する建築家「隈研吾」氏が設計

ITOMACHI HOTEL 0(ゼロ)は、新国立競技場など数多くの世界的建築を手掛けた日本を代表する建築家、隈研吾氏が設計を担いました。西条市の風景からインスピレーションを得た建築は、ホテル各棟をまたいでつながる大屋根に西条市のシンボルである石鎚山の山並みを表現するなど、西条ののびやかな自然と建築の洗練を感じる佇まいとなっています。

【施設概要】

施設名称：ITOMACHI HOTEL 0 (いとまちホテルゼロ)

所在地：愛媛県西条市朔日市字兵衛田250番7 (地番)

建物規模：地上2階 (南棟) / 地上1階 (北棟/東棟) 延床面積：2,999㎡ (907坪)

付帯施設：レセプションカフェ/キッチン付きコワーキングスペース / 多目的スタジオ/ランドリー

客室数：57室 (南棟50室/北棟7室) カフェ席数：35席

事業主：株式会社アドバンテック

建築設計：限研吾建築都市設計事務所

企画・運営：株式会社GOODTIME

インテリア・ランドスケープデザイン：Dugout Architects

照明デザイン：spangle

開業：2023年5月 (予定)

<株式会社アドバンテックについて> <https://www.advantec-japan.co.jp/>

「世界をつくる、企業へ」を掲げ、確かな技術力を誇る半導体製造関連事業を中心に、国内外でグローバルに事業を展開するモノづくり企業です。近年は再生可能エネルギー技術を駆使したサステナブル事業、まちづくり事業にも注力し、企業活動を通じたより良い明日の創出に挑戦し続けています。

<株式会社GOODTIMEについて> <https://goodtimejapan.com/>

「ともに創る、いきつづける価値。」をビジョンに、まちづくりに携わるベンチャー企業です。代表実績としては「GREEN SPRINGS」「THE CAMPUS」「白井屋ホテル」「GOOD NATURE STATION」等、コンセプトメイクからはじまる事業企画、プロジェクトディレクション、マネジメントを行い、特徴ある施設づくりに携わっております。

「ITOMACHI HOTEL 0(ゼロ)」をともに創るオープニングスタッフ募集開始

2023年春に開業を控えた「ITOMACHI HOTEL0(ゼロ)」では、共にホテルを創り上げてくれるオープニングスタッフの募集を開始しています。通常のホテル業務のみならず、ホテルやいとまちでのイベント企画なども行っていただく予定です。ホテルやいとまちの賑わい創出を通じた地域活性、まちづくりに興味のある方からのご応募を心よりお待ちしております。

▼ご希望の方は下記サイトより要項を確認の上、ご応募ください。

<https://itomachihotel-0.com/>



@itomachihotel0

Instagramアカウントにて最新情報を発信しています。

<本件に関する報道関係のお問い合わせ先>

株式会社GOODTIME 担当：森 info@itomachihotel-0.com